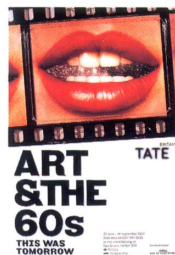
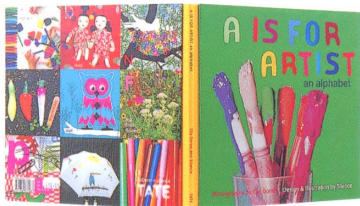
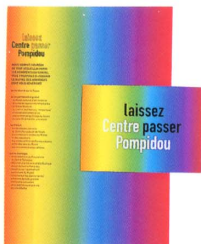


デザインの現場

DESIGNERS' WORKSHOP

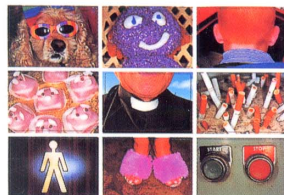
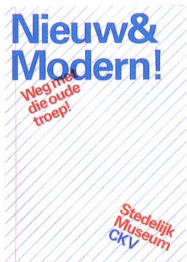
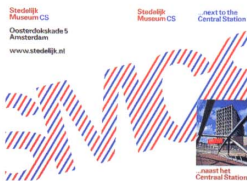
2004
12
Dec.

vol.21 no.137



特集 美術館で楽しむ!! CI、サイン、グラフィック、グッズ

ポンピドゥー・センター、テイト・モダン、MoMAほか

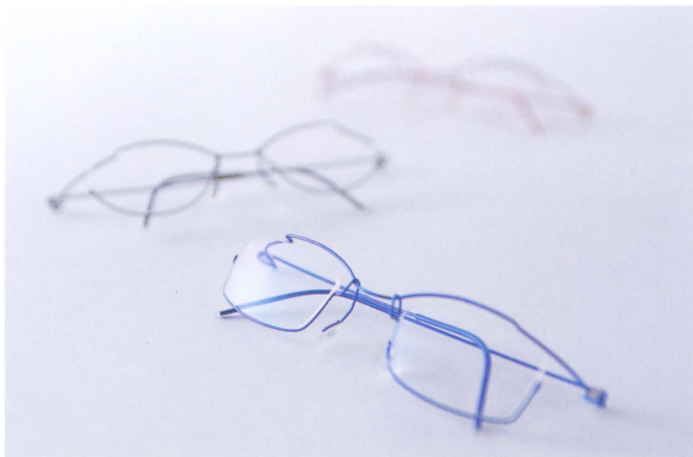


特別記事 秋のデザインイベントリポート

デザインチーム「nendo」の仕事

イオンの新しいブランドメッセージができるまで

連載 タイプディレクターが答える 欧文書体Q&A



フロントは部分はステンレス、テンプルはβチタンを使用。丸線でシンプルな構成にすることで、フレキシブルなデザインと耐久性に富んだメガネが生まれた。

コンセプト「Y」取扱店=【福井】田中眼鏡本舗 (TEL. 0776-28-2515)、
【京都】オーグリー (TEL. 075-231-0901)、ロジータ (TEL. 075-212-0096)、
【東京】アパーロ (TEL. 03-3780-6703)



フレームを頭部を包み込むようデザインしてあるため、違和感のない優しい装着感が実現

次世代に引き継がれるメガネフレームをつくる

メガネデザイナー 兵井伊佐男

取材・文/松本希子
TEXT by KIKO MATSUMOTO

福井市在住のメガネデザイナー兵井伊佐男さんは、今年1月に東京六本木のアクシスビル内にある、日本インダストリアルデザイナー協会のデザインミュージアムで、“あるメガネ”の展示会を開いた。

そのメガネを開発するきっかけとなったのは、友人であるY氏。彼は強度の近視で顔幅が広い。近視用のレンズは度数が上がるほどエッジが厚くなる特徴があるため、彼のレンズは必然的に分厚く重いメガネとなる。そこで、いつも変形しやすいY氏のメガネを直してあげていた兵井さんは、彼のためにフレームの形状に影響されず、レンズを自由にフィッティングできるメガネのデザインを考えた。それが“コンセプト「Y」”の始まりである。

通常、メガネのフレームにレンズを取り付ける場合、個人の瞳の位置に合わせて光学中心を調整して固定していく。しかし、このメガネはレンズとフレームを分離。レンズに影響を与えず、あらゆる顔幅に合わせて包み込むようにフィッティングすることができ、また逆にレンズをフレームに影響されず、目に対して最適の位置に微調整ができるようになった。

「普通のメガネは平均化されているため、大半の人には合わせる事が可能です。しかし、Y氏のようにそこから外れる人もいます。このメガネをつくりながら、100人中1人でも『これでないダメ』という人が存在するならば、それはすごいマーケットになると考えました。」

コンセプト「Y」の掛け心地を気に入ってくれたY氏の様子を見て、なんとかこれを量産したいと考えた兵井さんは、鯖江のメガネメーカーに持ち込んだが、首を縦に振るメーカ

ーはなく、最終的に自分がメーカーとなり生産することを決断した。

「確かに鯖江は欧米の有名メーカーから生産の依頼がきます。鯖江は世界的にも知られるメガネ産地で、注文があればどんな難題もクリアする高い技術力を持っています。しかし、リードする技術力は持ち合わせていても、リードするデザインを育てようとはしません。そんなデザイナー不在の高級OEM産地としての鯖江に、これまで僕はデザイナーとして大変情けない思いを募らせてきました。」

コンセプト「Y」はひとつひとつ手でパーツをつなぎ合わせてつくるローテクなメガネだ。しかし、組み立てるプロセスはローテクでも、パーツひとつひとつに鯖江で培われた高度な技術が生かされている。さらに線材でつくられているため、製作時にゴミが出るのがほとんどなく、過剰なプレス工程を省くことで線材本来の特性を生かしたフレキシブルなメガネとなっている。

「僕は20年間デザイナーとしてもものづくりに携わってきました。その中で、より高度な技術の製品が世の中に送り出されるほど、地球環境に負荷を与えていることを常に実感してきました。たった一本のメガネであっても、大量消費を支える20世紀型のものづくりの中では多くの廃棄物を生み出します。だからこそ、ローテクでシンプルなロングライフなメガネを目指しました。その結果コンセプト「Y」が、鯖江産地の目指している高度な技術力を駆使したモノづくりとは逆をいくメガネになったのはちょっと皮肉です。」

10月1日、2004年度グッドデザイン賞の発表があった。兵井さんのコンセプト「Y」は、商品デザイン部門、身のまわり商品で受賞を果たした。



コンセプト「Y」を組み立てるための手製の治具



福井市内にある兵井さんのスタジオ



ひょういしお
1956年福井生。メガネメーカーのデザイン室を経て、94年に独立。「ワンオフ工房」を構える。JIDA会員。
連絡先=ワンオフ工房 福井市城東2-2-1
TEL. 0776-27-1820
isao-h@mitene.or.jp